

# ソニーグループ株式会社

<https://www.sony.com/ja/SonyInfo/csr/eco/>



## 《将来に向けた取組方針》

ソニーは、あらゆる生命の生存基盤である地球環境が保全され、現在だけでなく将来にわたり、健全で心豊かな持続可能な社会を実現するために、自らの事業活動および製品のライフサイクルを通して、環境負荷をゼロにすることを目指します。

### 生物多様性方針

事業活動や地域貢献活動を通して、生物多様性の維持・回復を積極的に推進し、生態系サービスの保全と持続的な利用に努めます。

## 【活動事例】

### 豊かな生態系を育む「ソニーの森」の保全活動

ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社 幸田サイトは、1972年の創立当時から敷地内にあった自然林を「ソニーの森」として保全してきました。「ソニーの森」は、鳥獣保護区に指定されており、近隣の生態系においても重要な場所となっています。幸田サイトでは、生態系ピラミッドの頂点に位置する動物であるフクロウが生息する豊かな生態系を築くことを目指し、フクロウが飛翔できる空間や餌場を整備し、巣箱を取り付けるなどの活動を続けています。その結果、2016年以降愛知県の準絶滅危惧種に指定されているフクロウの棲息が確認されています。

また、2011年からは「地域の自然再生が必要とされる、在来種の苗木を確保・提供する活動」を企業、地域住民、行政などのコラボレーションにより行っています。これらの「ソニーの森」活動が評価され、幸田サイトは2015年に国連生物多様性の10年日本委員会認定事業第6弾に認定され、2023年には環境省が進める30by30達成に向けた「自然共生サイト」認定事業において生物多様性の保全が図られている区域として認定されました。



「ソニーの森」で誕生したフクロウの雛（2020年撮影）

### 世界各地の地域性に応じた清掃活動

ソニーは、世界各地の事業所において、それぞれの地域性に応じた清掃活動を継続的に実施しています。例えば、ソニー・デバイス・テクノロジー（タイ）（SDT）では、マングローブ林を保全するため、1999年よりマングローブの植林活動を継続的に行うとともに、清掃活動もあわせて実施しています。2022年はThe Sirindhorn International Environmental Parkのビーチの清掃活動を行い、廃プラスチックをはじめとする約65kgの廃棄物を収集しました。



SDT社員による清掃活動の様子